

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

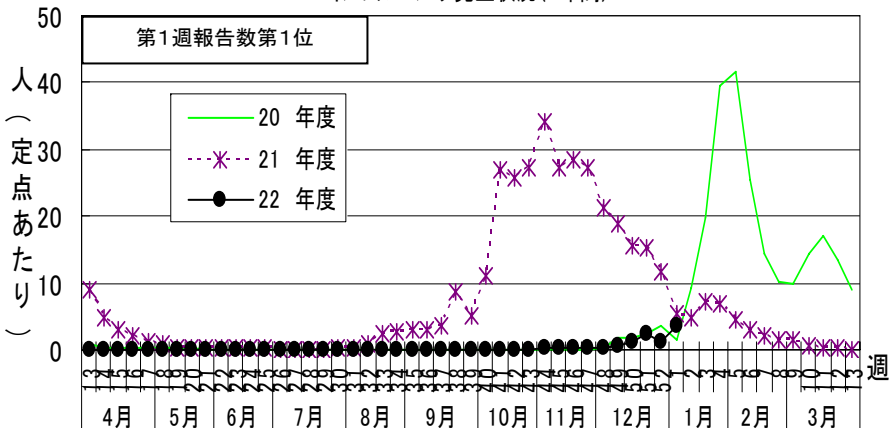
平成23年1月3日（月）～1月9日（日）〔第1週〕の感染症発生状況

第1週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)水痘でした。

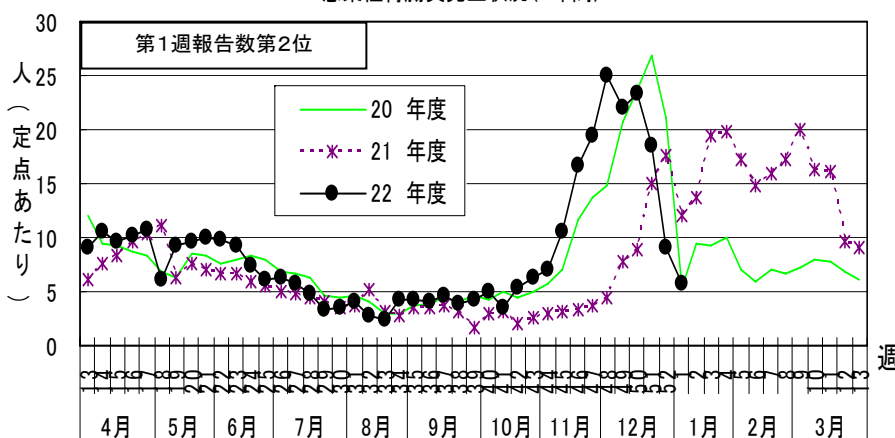
インフルエンザは定点あたり3.68人と前週（1.08）より患者報告数は増加しており、今後冬季休暇が終了し、学校、幼稚園、保育所等の集団生活施設が再開した後の1月中旬以降に流行が本格化していくと推測されますので、今後の発生動向に注意が必要です。

感染性胃腸炎は定点あたり5.75人と前週（9.03）より患者報告数は減少しておりますが、第1週は休診日の医療機関があった影響が考えられますので、引き続き注意が必要です。腸管出血性大腸菌感染症の届出が1件（推定感染原因：経口感染、感染地域：不明）ありました。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ予防の徹底を！！～受験に備えて～

いよいよ寒さも本番になり、これからインフルエンザの流行シーズン（例年1月から3月頃まで）を迎えようとしています。これから入学試験が始まる方も多いと思います。“受験日にインフルエンザで寝込んでしまった…”ということのないように、下に紹介したインフルエンザ予防法を再度徹底するとともに、ワクチンを接種していない場合には、早めに接種を受けるようにしましょう。

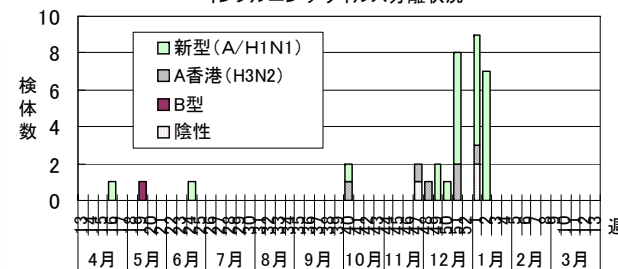
年明け以降に医療機関から提供された検体は16件であり、検出結果は、次のグラフのとおり、13件が一昨年流行した新型インフルエンザウイルス、1件が香港型（季節性インフルエンザウイルス）、残り2件が陰性でした。



絶対！せきエチケット！！
～病気をうつさない思いやり～

せきををするときは、人から離れ、口や鼻をティッシュやハンカチで押さえるようにして、ウイルス等が飛散しないように心がけましょう。※せきのある方は、あらかじめマスクをつけるのも思いやりです

インフルエンザウイルス分離状況



インフルエンザの予防法 基本の6か条

①うがいと手洗い



②外出時のマスク



③人ごみを避ける



④十分な睡眠



⑤十分な加湿



⑥バランスが取れた食事